「庄内スマート・テロワール豊穣感謝祭 2026」開催要領
～ 豚肉加工品を核とした循環型農村経済圏モデルの確立と未来への展開 ～

１．趣　　旨

ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化をはじめとする地政学的リスクの高まり、異常気象、為替変動等の影響により、国際的な穀物・エネルギー価格や農業生産資材が高騰し、我が国の食料安全保障は深刻な課題に直面しています。国内で消費される豚肉加工品は原料豚肉の 80%以上を輸入に依存しており、近年ではスペイン産豚肉のアフリカ豚熱（ASF）に伴う輸入一時停止措置が継続するなど、海外供給網への依存リスクが顕在化しています。そのため、国内自給率の向上と地域資源を活用した持続可能な食料供給体制の構築が不可欠となっています。このような状況下において山形大学では、耕畜・農工・工商の3つの連携と地消地産により、食と農の経済を地域内で循環させ、完結できる「持続可能な循環型農村経済圏（スマート・テロワール）」の構築に取り組んでおります。その実践の核として、JRA（日本中央競馬会）畜産振興助成事業「豚肉加工品を核とした循環型経済圏モデル事業」（令和6～8 年度）を実施し、地域肥料資源を活用した穀物輪作体系の実証や、地域飼料資源による加工仕向用豚の飼養管理技術開発、ならびに地域経済モデルの策定を進めてまいりました。事業最終年度を迎えるにあたって、「スマート・テロワール豊穣感謝祭 2026」では、これまでの 3 年間の研究成果を報告するとともに、その成果を地域社会へ還元・加速させる大学発ベンチャー「庄内スマートテロワール機構 LLP」の社会実装に向けた挑戦と将来展望を提示いたします。さらに第２部の試食会では、本事業の成果物である地域肥飼料資源を活用して肥育された「豚肉（精肉）」および「純地域産豚肉加工品」等をご試食いただき、ご意見・評価を頂戴しながら、生産者・事業者・行政・消費者等が一同に会して、庄内地域の持続可能な未来像をともに考える機会といたします。

２．主　　催　山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS）
庄内スマート・テロワール構築協議会
有限責任事業組合 庄内スマートテロワール機構
（山形大学発ベンチャー ： 庄内スマートテロワール機構 LLP）

３．日　　時　令和8年11月25日（水） 13：00～17：20

４．現地会場　グランド エル・サン（山形県鶴岡市東原町17−7）
オンライン会場　Zoom ウェビナー（※第１部 シンポジウムのみ配信）

５．内　　容

１）第１部（現地開催 ＋ WEB 配信）
シンポジウム（会場：クリスタルホール／オンライン配信あり）

開会の挨拶　13:00～13:10
国立大学法人山形大学農学部　学部長　渡部　徹　氏

基調講演　13:10～14:00
食肉加工業界の現状と課題
一般社団法人 日本食肉加工協会　理事長　小原 健児 氏

行政施策の紹介　14:00～14:30
食肉をめぐる情勢と行政施策
東北農政局生産部畜産課　畜産物流通指導官　渡邉 るみ 氏

《 休　憩 （10 分）》

循環型農村経済圏（スマート・テロワール）の構築に向けた研究成果報告

地域肥飼料資源を活用した穀物輪作体系の実証と加工仕向用豚の肥育技術

14:40～15:00

山形大学農学部　准教授　松山　裕城 氏

加工仕向用豚交雑種の作出と肉質評価　15:00～15:35

山形県農業総合研究センター養豚研究所　専門研究員 樋田 剛 氏

山形大学農学部　准教授　小松 智彦 氏

地消地産と地域資源の活用を基軸とした循環型農村経済圏の構築と展望

15:35～16:10

山形大学農学部　助教　陳　奥飛 氏

株式会社地域科学研究所 研究開発部　主任研究員　今枝 紘樹 氏

循環型農村経済圏（スマート・テロワール）の社会実装に向けた新組織の紹介

スマート・テロワール構想の社会実装に向けた大学発ベンチャーの挑戦　16:10～16:25

山形大学 名誉教授　浦川 修司 氏

《　試食会場の設置（10 分）　》

２）第２部　（会場：クリスタルホール）

JRA 事業の研究成果の『豚肉および豚肉加工品』と
『スマート・テロワール』構想から産まれた食材の試食会　16:35～17:20

《 内容詳細 》

本試食会はJRA助成事業の一環として実施いたします。会場では、地域の肥飼料で育てた研究成果の「豚肉（精肉・料理）」や、試作したソーセージ・ハム等の「純地域産豚肉加工品」をご試食いただけます。一連の成果を直接ご体験いただき、アンケートを通じて地消地産のさらなる普及と理解醸成を目指します。

６．参加方法・お申し込み

本シンポジウム（第１部）は会場参加およびWEB配信（Zoom）によるオンライン参加が可能です。チラシに記載の申込フォームのURLまたはQRコード より、参加形態（会場参加／オンライン参加）を選択のうえお申し込みください（**締め切り：令和８年１１月１９日（木）**）。

７．その他

産学連携相談：産学連携相談を行いますので、ご希望の方は、当日受付にてお申し出ください。

問い合わせ先：「庄内スマート・テロワール」豊穣感謝祭 2026 事務局
（山形大学鶴岡キャンパス事務部総務課 研究・社会共創室）
〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23
Tel ： 0235-28-2834 ， Fax ： 0235-28-2812
E-mail ： yu-nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

本シンポジウムはJRA日本中央競馬会助成事業を活用して開催いたします。